

防災庁設置準備担当大臣

赤澤 亮正 様

要 望 書

所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市

要 望 書

《要 旨》

埼玉県南西部に所在する、所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市の5市は、東京都心から近郊の首都圏に位置し、同一の鉄道路線や幹線道路、隣接した市街地整備の推進等に伴い市域を越えて生活圏が連続的に広がり、市民の日常生活が広域で営まれています。こうした中、5市では「埼玉県西部地域まちづくり協議会」を設置し、圏域における共通する各種課題等の解決に向けて連携・協力を図りながら、様々な取組を展開しているところであります。

今般、国では令和8年度の防災庁設置に向け、「防災庁設置準備アドバイザー会議」が開催され、防災施策の方向性やそのための組織の在り方などが議論されておりますが、国のバックアップ体制構築等の観点から、以下の理由により、5市の圏域への防災庁の設置について、格別の配慮を賜りますようお願い申し上げます。

《理 由》

第一 “強固で安定した地盤”

当圏域は強固な地盤を有し、地震や風水害に強く、自然災害に対する高い安全性を誇ります。強靱な国土を守る防災庁の拠点として、この安定した地盤は不可欠です。

第二 “首都圏中央連絡道路で主要高速道路とのアクセスに優れている”

当圏域は首都圏中央連絡自動車道を利用して主要な高速道路（東名、中央、関越、東北、常磐）へのアクセスに優れ、首都圏や地方で災害が発生した場合においても地理的な利点を有しており、迅速な初動対応を可能とする高速交通網への良好なアクセスは、防災拠点として極めて重要です。

第三 “物資及び人員の輸送力に優れている”

狭山市と入間市には航空自衛隊入間基地が所在し、入間市には自衛隊の災害対処拠点が既に設置されています。C-2輸送機を有している輸送能力の高い入間基地との近接性は、大規模災害時の迅速な物資輸送や人員展開に大きく貢献します。

第四 “多様な防災関係機関との連携に優れている”

当圏域の周辺地域に所在する在日米軍横田基地や陸上自衛隊の各駐屯地、そして県内有数の規模である埼玉西部消防局とも円滑な連携が可能です。多様な防災関係機関との連携の容易さは、複合災害への対応力を高めます。

第五 “災害時の医療体制に優れている”

当圏域には、航空自衛隊入間病院、埼玉医科大学国際医療センター、石心会狭山病院、防衛医科大学校病院といった大規模医療機関が所在し、災害時の医療体制も万全です。

令和7年6月9日

防災庁設置準備担当大臣

赤澤 亮正 様

所 沢 市 長

小野塚 勝俊

飯 能 市 長

新井 重治

狭 山 市 長

小谷 野 剛

入 間 市 長

杉島 理一郎

日 高 市 長

谷ヶ崎 照雄